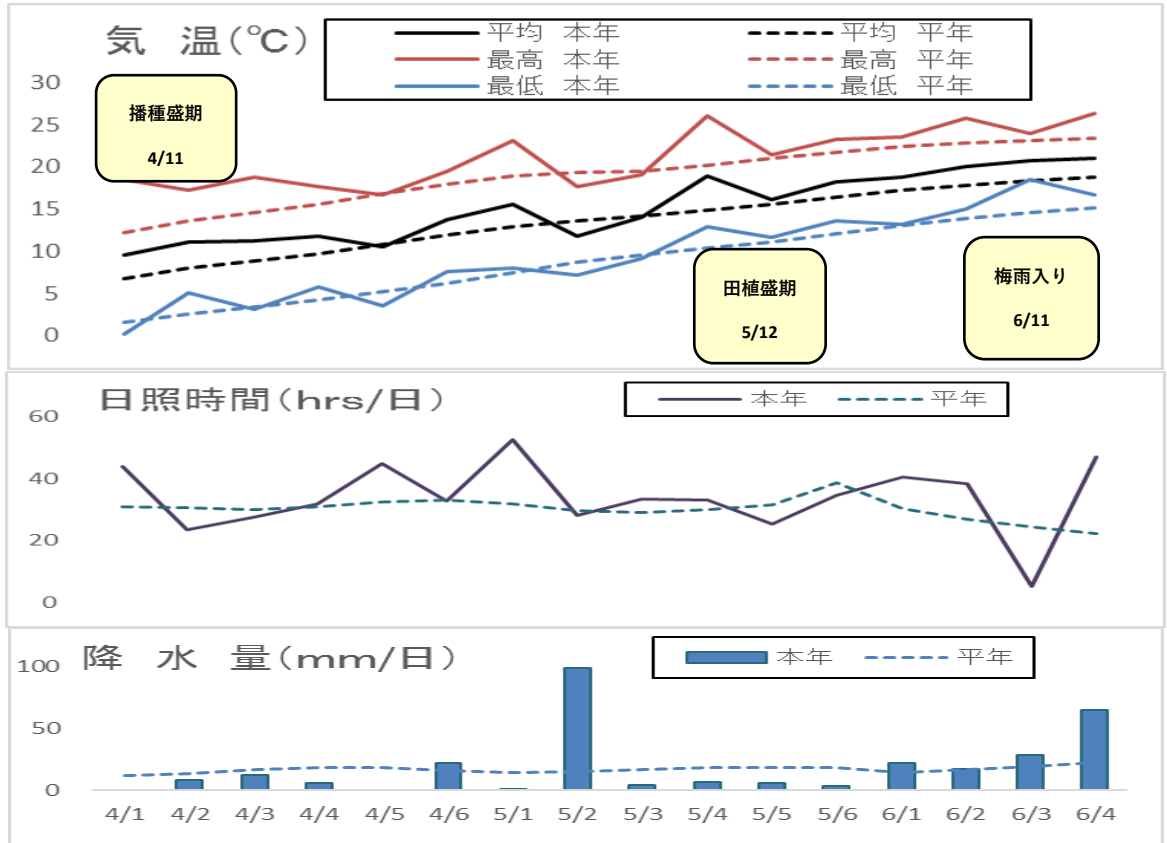


～生育ステージは平年並み、有効茎を確保したほ場では中干しの準備を～

1 令和5年の気象(古川アメダス)



◆6/22 発表 東北地方の1か月予報(6/24～7/23 までの天候見通し)【気象庁ホームページより】

- ・ 平年と同様に曇りや雨の日が多い。期間の前半は、気温がかなり高くなる見込み。
- ・ 向こう1か月の気温は、高い確率60%、平年並みの確率30%、低い確率10%。
- ・ 降水量は、多い確率40%、平年並み若しくは少ない確率30%。
- ・ 日照時間は、多い若しくは平年並みの確率30%、少ない確率40%。

気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)			
気温	東北地方	向こう1か月 06/24～07/23	10 (低い) 30 (平年並) 60 (高い)
		1週目 06/24～06/30	10 (低い) 10 (平年並) 80 (高い)
		2週目 07/01～07/07	10 (低い) 30 (平年並) 60 (高い)
		3～4週目 07/08～07/21	30 (低い) 30 (平年並) 40 (高い)
降水量	東北地方	向こう1か月 06/24～07/23	30 (低い) 30 (平年並) 40 (高い)
日照時間	東北地方	向こう1か月 06/24～07/23	40 (低い) 30 (平年並) 30 (高い)

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

2 生育状況（6月20日）〔宮城県古川農業試験場・農業改良普及センター調査〕

(1) 作況試験 5月10日植え ひとめぼれ（古川農業試験場）

- ・草丈は41.9cmで平年比123%，茎数は405本/m²で平年比81%である。
- ・葉色（GM値）は47.2で，平年よりやや高い。
- ・葉数は8.3枚で平年より0.2枚多く，生育ステージは概ね平年並みと見込まれる。

移植日	草 丈		茎 数		葉 色		葉 数	
	本 年 (cm)	平年比 (%)	本 年 (本/m ²)	平年比 (%)	本 年 (GM値)	平年差 (GM値)	本 年 (枚)	平年差 (枚)
5月10日	41.9	123	405	81	47.2	3.9	8.3	0.2

(2) 生育調査ほ 県内品種別（県農業改良普及センター）

- ・草丈は40～42cm程度で，平年比117～128%である。
- ・茎数は351～361本/m²，平年比79～114%となっており，**前回調査時より回復してきている。**
- ・葉色（GM値）は42～45程度で，平年よりやや高い。

●古川農業試験場の「作況試験」や「生育調査ほ」の調査結果から推察すると，**茎数が平年より少ないほ場も見られるが，5月上旬に移植された水田や品種によっては，概ね有効茎数は確保されたと思われる。茎数が不足気味のほ場でも，前回調査時より回復傾向にある。**

品種名	草 丈		茎 数		葉 色	
	本 年 (cm)	平年比 (%)	本 年 (本/m ²)	平年比 (%)	本 年 (GM値)	平年差 (GM値)
ひとめぼれ	42.4	117	351	88	45.1	2.9
ササニシキ	40.0	118	355	79	41.9	1.3
つや姫	41.9	128	361	114	45.0	1.3

3 今後の管理

(1) 水管理

- ・**有効茎数(400～500本/m²)が確保された水田では，根の活力向上や土壌の地耐力向上のため，中干しを実施する。**中干しの期間は，7～10日程度を目安とする。中干しの程度は，田面に小さな亀裂が入り足跡がつく程度の固さとする。排水不良田や排水に時間がかかる大区画水田では，溝切りを実施すると排水が容易になる。
- ・中干しの終了後に急激に湛水状態にすると，土壌の還元が急激に進んで酸素不足となり根を痛めやすいので，中干しの終了直後は走り水程度として徐々に湛水状態に戻す。
- ・**茎数が不足気味の水田では，引き続き水深2～3cmの浅水管理を行い，分けつを促進する。**

(2) いもち病対策

- ・**梅雨に入り，葉いもちの発生しやすい時期になるので，早期発見・早期防除に努める。**
- ・直播栽培など，箱処理剤を使っていない場合は，適期に水面施用剤を散布する。

(3) 斑点米カメムシ対策

- ・畦畔や雑草地・牧草地等の雑草は，計画的に刈り取り，カメムシ類の増殖を抑制する。
- ・水田内でのイヌホタルイ・ノビエ等の残草は，「アカスジカスミカメ」の侵入を促す。残草が目立つ場合は，後期除草剤等で防除する。